

あんぜんだより

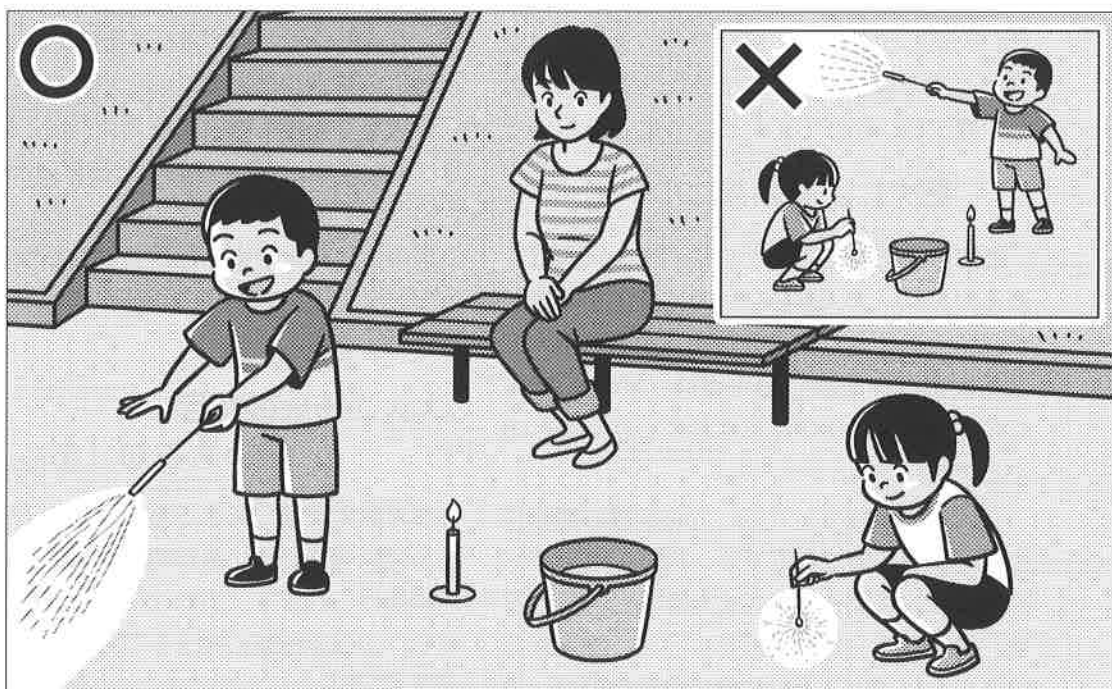
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



花火を安全に楽しむための大切な約束を守りましょう

日本の夏の夜を彩る風物詩といえば、なんといっても花火ですね。各地で行われる打ち上げ花火大会はもちろんですが、家族で楽しむ花火も子どもたちの心に残る思い出になります。火事やけがをしないように、しっかりと約束を守って楽しみましょう。

はなびをするときのやくそく



いちばん たいせつな やくそく！ はなびをするときはこどもだけで しない こと。かならず おうちの おとなのひとと いっしょに しようね。

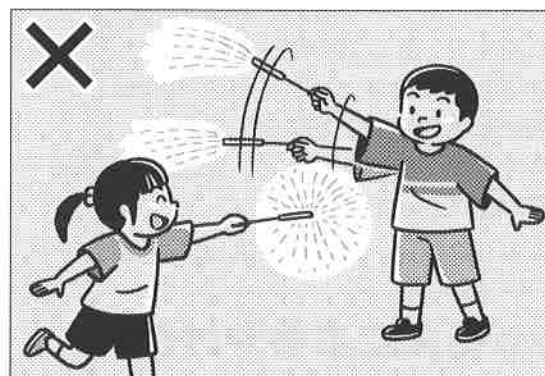
保護者の方へ 花火で遊ぶ時には、必ず保護者が立ち会いましょう。風の強さや方向、周囲に燃えやすいものがないかなどを、事前に確かめてください。花火に点火する時はマッチやライターなどではなく、倒れないように固定したろうそくの火で行います。手持ち花火を振り回したり、他人に向けたり、吹き出し花火をのぞき込んだり、近づき過ぎたりすることのないように指導しましょう。終わった花火は、バケツにためた水につけて確実に消します。一晩ほど水につけた後、各自治体で定められたルールに従って捨ててください。



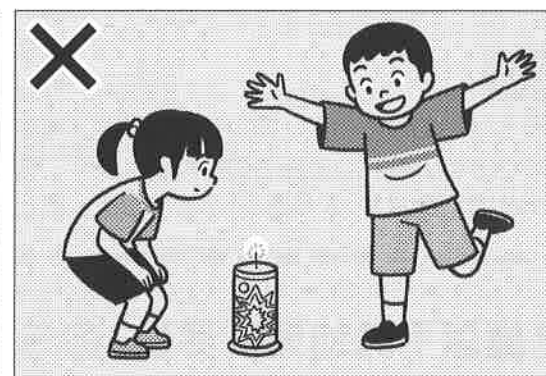
かぜの つよい ときには はなびを しない。



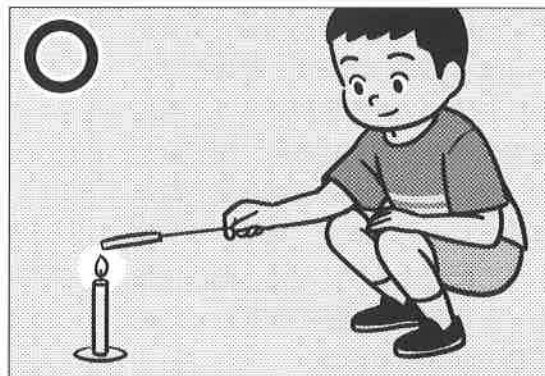
もえやすい ものの そばでは しない。



ほかの ひとに むけたり ふりまわしたり しない。



はなびを のぞきこんだり ちかよりすぎたり しない。



ひをつける ときには ろうそくの ひで つける。



終わった はなびは みずに つけて しっかり けす。

9月号では「バスに乗る時の注意」について取り上げます。